広報
たまかわ
2015 9
No.589
http://www.vill.tamakawa.fukushima.jp

華麗な花笠に手甲、脚絆を身にまとい　情緒豊かな舞を奉納

南須釜の念仏踊りより（8月14日）

平成27年度中学生国内研修事業

北の大地の素晴らしさを体感

泉・須釜中学校の2年生64名が、貴重な体験と学習を積んできました

玉川村中学生国内研修事業は、7月29日から31日までの2泊3日の日程で行われ、泉、須釜の両中学校の2年生が北海道を訪れました。

今年度は、冨岡ケイ子教育長を団長に、泉中43名、須釜中21名の計64名。ほかに引率教諭等を含めた合計74名が参加しました。

参加した生徒は、北海道の豊かな自然と美しい風土に触れ、新千歳空港では、村の農産物のPRを行うなど、貴重な体験をした充実の3日間となりました。

一日目（7月29日）
- 福島空港を午前9時50分出発
- 新千歳空港で村農産物のPR活動
- 「アイヌ民族博物館」を見学

二日目（7月30日）
- 洞爺湖町「有珠山西山火口」を見学
- 「尻別川」でラフティング体験

三日目（7月31日）
- 札幌市内「班別自主研修」
- 福島空港に午後6時到着

今回の研修に参加された生徒の中から、6名の皆さんの感想文をご紹介します。

PR活動

泉中　車田亮太くん

僕たちは、北海道研修の一日目に新千歳空港で玉川村のPR活動を行いました。

このPR活動に向けて、総合の時間を使い、玉川村について詳しく調べました。調べた内容をPR活動用のパンフレットとしてまとめました。

初めての人にもパンフレットを見て、玉川村がどのような村なのか理解してもらえるよう、工夫して作りました。

PR活動は、パンフレットと玉川村産のいんげん、トマト、きゅうり、そしてさるなしジュースを配りました。

最初は、見知らぬ人に農産物を配るのはとても不安でしたが、声をかけているうちに緊張もなくなり、玉川村のことについて知ってもらうことができ、うれしかったです。「どこから来たの？」「この後はどこへ行くの？」といった質問をされ、しっかり答えることができました。また、この活動を通して、空港にいた人たちとコミュニケーションをとることができたことがよかったです。

今回のPR活動では、たくさんの方と接することができました。僕は六人しか配ることができませんでしたが、きちんと特産物を配ることができました。総合の時間を使い、PR活動について学級で練習していたことが生かされよかったと思います。

このPR活動を通して、改めて玉川村の良さを知ることができました。これからも玉川村の良さを感じながら生活していきたいと思います。

新千歳空港で村特産品をPR

アイヌの歴史

須釜中　草野圭祐くん

北海道研修の一日目にアイヌ文化博物館に行きました。そして、そこでアイヌ文化の話を聞きました。また、アイヌの古式舞踊を、スタッフと生徒と先生で踊りました。いろいろなリズムや擬音を使って、踊るのが難しかったですが、とても楽しかったです。楽器などを使わずに、リズムを手拍子で取り歌っていたので、アイヌの人々はとてもすごいと思いました。

そこで聞いた話の中で、驚いたことが二つあります。まずは、昔アイヌの人々が着ていた服に驚きました。小さな木のような素材を紡いで、大きな服を作っていたので、アイヌの人々はとても器用だと思いました。昔は、機械などがなくても、環境に対して、いろいろな対策をしていたので、すばらしいと思いました。

二つ目は、女性の成人の意味を表す口に驚きました。アイヌの人々は成人になるために、小さい時から口にいれずみをしなくてはいけないので大変だと思いました。

僕は、アイヌ人と日本人の文化は大きく違っていると思っていましたが、この体験で、アイヌ人と日本人との共通点も見つけることができました。今まであまり触れることがなかった文化に触れ、新しい発見があり、とてもよい経験ができたと思います。

みんなでアイヌの舞踊を体験

洞爺湖の良さを知って

泉中　塩沢航未さん

私達は、一日目に、洞爺湖の近くにある洞爺湖温泉万世閣レイクサイドテラスと言うホテルに泊まりました。あいにくの天気だったのですが、湖はおだやかで、すごくきれいだなぁと思ったのが、洞爺湖についての私の第一印象でした。そしてその夜には、天気も回復し、とてもきれいな花火を見ることができました。広い湖では船がたくさん動き、あちらこちらで花火が打ち上げられました。どこで見ていても楽しめるように工夫され、すごかったです。

二日目には、洞爺湖ビジターセンター火山科学館に行きました。私はここで、洞爺湖の中に四つの島があると改めて知りました。改めてと言うのは、バスガイドさんの話は聞いていたのですが、その時にはあまり気にとめていなかったからです。四つの島と言うのは、大きい順に、大島、観音島、弁天島、饅頭島です。そして、洞爺湖は、凍らない湖であるということもびっくりしました。北海道では、福島県では考えられないくらい寒くなります。それにもかかわらず、凍らないことにびっくりしました。

福島県には、猪苗代湖がありますが、猪苗代湖には島がなく、洞爺湖には島があります。その違いからもくると思いますが、猪苗代湖には猪苗代湖の良さがあり、洞爺湖には洞爺湖の良さがあるなぁと感じました。私は、改めて、猪苗代湖の良さを考えることができたことも含め、洞爺湖を知れてとても良かったと思いました。

湖から打ち上げられる花火

有珠山の過去から学んだこと

須釜中　瀬谷春花さん

私たちは、北海道研修旅行二日目に、有珠山に登りました。テレビで見る有珠山とはちがい、今までの有珠山の過去がわかりました。

有珠山に登り危険な道がたくさんありました。このとき私は、「この道もたぶん火山で危なくなったのかな。」と思いながら歩き続けました。歩き続けていくと火山でできた池がありました。そこには、一台だけ残っている車がありました。水圧で屋根がへこんでいました。とてもボコボコしていたのでびっくりしました。その車を見てから、噴火によって飛んできた石により、穴があいた建物や波のようにうねった道がありました。

その中でも、一番印象的だったものは、幼稚園の姿でした。火山で飛んできた大きな岩が園庭にあったり、噴石

により屋根は穴があいており、中は卒園式から入園式の準備に変わろうとしていた様子がうかがえました。

私たちが有珠山で見た光景は、私たちに自然の厳しさや、恐ろしさを教えてくれるものでした。そういった危険な場所で今も生活し、前へ進もうとしている住人の方々から、ふる里を愛する気持ちや、あきらめない心を学びました。これらのことは、今の福島にも共通した所があるように思えます。私たちが見た有珠山での様子を忘れずに、これからの生活にいかし、まわりの人々に私が思うことを伝えられるようになりたいと思いました。

有珠山西山火口見学より

ラフティングを通して

須釜中　草野弘樹くん

僕は北海道研修へ行き、ラフティングを体験しました。今回、初めてラフティングというものを知りました。ゴムボートに六人ぐらいで乗り、川下りをするスポーツで、特に急流を下るときは、スリル満点でした。

僕達のチームは、男子二人女子四人で川下りを始めました。最初はバランス感覚がとても難しく、ボートから落ちそうになってしまいました。

ラフティングを始めてしばらくすると、急な流れになり、心の中ではとてもハラハラしてしまいました。しかし、どんな状況でも、ガイドの方が、ボートのバランスをとったり、進む方向をサポートしてくれたので、そんな不安も忘れて安心して、楽しい体験ができました。また、皆で協力して、チームワークを大切にしたことも、楽しい思い出につながったと思います。今回行ったラフティングは、急な流れと、おだやかな流れが繰り返され、玉川村にはない大きな渓流で、天候もよく、その大自然の絶景が疲れを吹き飛ばしてくれ、大自然を満喫することができました。

今回、ラフティングを行ったことで、人との交流の広がりやチームワークの大切さ、大自然の中で活動することのすばらしさを知ることができました。忙しい毎日を忘れさせてくれて、心身ともにリフレッシュすることができました。

ラフティング体験より

班別自主研修

泉中　矢部　栞さん

北海道研修旅行の三日目は、班別自主研修でした。

私たちの班は、小樽方面で、目的地がおたる水族館でした。おたる水族館までは、電車やバスの乗り換えが多く、とても大変でした。

また、朝だったため、通勤の人達で駅が混雑していました。切符を買うところも人がたくさんいて、電車の中も満員状態でした。

電車に乗っていると、小樽や南小樽など、似ている駅がたくさんあってどこで降りていいか、全然わからなかったです。近くにいた駅員さんに聞くと、駅員さんが親切に教えてくれました。おかげで予定通りの時間に小樽駅に着くことができました。駅からおたる水族館までは徒歩で迷わずに行くことができました。

水族館には、実際に小樽の海でとれた魚がたくさん泳いでいました。また、そこには珍しい魚などもいて、とても楽しい時間を過ごすことができました。ここを出る時間が予定より早くなってしまいバスの時刻表を見ていると、おばあさんが教えてくれました。その時は、すごく嬉しかったです。無事に新千歳空港に着いた時は安心しました。

私が、この自主研修で学んだことは、二つあります。一つ目は、仲間と協力することです。二つ目は、コミュニケーションの大切さです。私は、この二つの事を忘れずに、これからの中学校生活に生かしていきたいと思います。

玉川夏の風物詩

玉川夏祭り

恒例の「第27回玉川夏祭り」が８月13日、たまかわ文化体育館駐車場を会場に開催され、家族連れや浴衣姿の人たちが続々と集まり、多くの人出で賑わいました。

会場には特設ステージが設けられ、歌謡ショーや空手の演武など多彩なイベントが催されました。

そして、夏祭りを締めくくる「第29回玉川花火大会」がスタートすると、夜空に響き渡る大輪の花火に、来場者から歓声と大きな拍手が送られていました。

北城かおり歌謡ショー

浴衣deジャンケン大会

盆踊り大会

お盆期間中の8月14から15日にかけて、各地域の青年団や保存会の皆さんによる豊年盆踊り大会が行われました。

今年盆踊りが行われたのは、岩法寺、南須釜、吉、四辻新田の４つの地区です。

どの地区も、子どもからお年寄りまで沢山の地域住民の方々が集まり、やぐらを囲んで踊りの輪が広がりました。

岩法寺地区

四辻新田地区

四辻夏まつり

8月14日、旧四辻分校を会場に「第９回四辻夏まつり」が開かれ、スイカ割りやクロリティなど、多彩なイベントに多くの地区民らで賑わいました。

青井沢ふれあい交流事業

8月9日、青井沢集会所で「青井沢ふれあい交流事業」が開催されました。

今年も多くの子ども達が集まり、手打ちの特製流しそばや放流したニジマスのつかみ取りが行われ、野生味溢れる体験に歓声が響いていました。

福島県産米の安全安心のため！ 27年産米の全量全袋検査を実施します

東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、福島県産の農林水産物はいまだに出荷制限や風評被害などの深刻な影響を受けています。

これを受け、玉川村では、昨年同様、福島県の検査方針に基づき、米の放射性物質全量全袋検査を実施します。

■対象となる米

全量全袋検査の対象となる米は、出荷、販売する米に加え、自家消費する米、縁故米、贈答米も対象となります。

■検査場所・検査機器

○**検査場所**：ＪＡあぶくま石川 玉川支店 農産物集出荷所（小高地内）

○**検査機器**：ベルトコンベア式測定機（検査能力：１，５００袋程度／日）

■検査期間

９月28日（月）～11月30日（月）

■検査方法

①バーコードラベルの貼付

後日送付されるバーコードラベルを生産したすべての米袋に貼ってください。

※バーコードラベルが貼っていない米袋は検査を受けられません。

②検査を受ける

ＪＡや商系業者へ出荷・販売している場合はＪＡや商系業者で検査を受けます。

自分で販売する米や自家消費米、縁故米、贈答米については、検査を希望する前日までに予約をしていただき、農家の皆さんが自ら検査場へ搬入し検査を受けることとなります。

なお、収穫期は混雑が予想されますので、検査日は希望に添えないことがありますので、あらかじめご理解願います。

■検査結果の公表

検査結果は、検査終了後に米袋へ貼付されるＱＲコードやインターネット上で識別番号を入力し確認できます。

■検査搬入手数料

検査を受けるにあたって、農家の皆さんから料金をいただくことは一切ありません。

検査場へ自ら搬入していただいた場合、検査搬入手数料として、１袋あたり２４０円程度を村から農家の皆さんへお支払いいたします。

■平成26年度検査との違い

バーコードラベル、検査済み証のデザイン等が変わります。これに伴い、バーコードラベルの貼る位置も変更となっておりますので注意してください。

■注意事項

①平成27年産米の検査を受ける場合、昨年度送付されたバーコードラベルは使用しないでください。

②検査を受ける場合、必ず前日までに予約をとってください。スケジュール管理を行っておりますので、当日の検査実施申し込みは原則行っておりません。

③今年度初めて検査を希望される方は、システムへの新規登録が必要となりますので、役場産業振興課まで連絡をお願いします。

④バーコードラベルは９月中旬頃に送付予定です。送付されましたら、枚数や生産者名等の確認をお願いします。

※その他、検査の予約方法や連絡事項等については順次お知らせいたします。

すべての平成27年産米の検査を実施し、未検査の米が流通・消費されないよう、皆様のご協力をお願いします！

▶**問い合わせ先**

役場産業振興課 農政係　☎５７－４６２７

各種スポーツ等で頑張っている皆さんに激励金を交付しました

左【第28回福島県ゲートボール選手権大会及び第12回協会長杯ゲートボール大会出場】小高チーム
中【第68回福島県総合体育大会ゲートボール競技出場】川辺チーム
右【第42回東北総合体育大会剣道競技会出場】阿部慎太郎（学法石川高３年）

ぼくも！わたしも！ 虫歯がないよ

今年度３回目の３歳児健診が８月22日、村保健センターで行われました。
健診項目の歯科検診の結果、虫歯が１本もなかった２名のおともだちを紹介します。
（順不同。【　】は保護者と地区名）

吉村 唯（ゆい）くん
【雄太：南須釜】

矢吹日奈理（ひなり）ちゃん
【彰浩：小高】

消防ふれあいデー

■開催日時
10月17日(土)12:00～14:00

■開催場所
イオンタウン須賀川駐車場
（須賀川市古河 105）

■開催内容
水消火器・救急法体験、ミニ消防車（ちびたん号）試乗、消防隊用防火衣試着、消防車両（はしご車・救急車）展示など

■その他
雨天時は規模を縮小して実施します。（はしご車の展示、ミニ消防車試乗はありません。）
荒天時、地震等の災害が発生した場合には中止します。

※一般家庭の消火器無料点検及び老朽化消火器有料回収も同時に実施します。

玉川村が誇る県指定文化財を展示

玉川ふるさと館（たまかわ文化体育館内）の企画展示物の入れ替えが行われました。
今回は川辺編ということで、県指定文化財の川辺八幡神社本殿から「附棟札六枚」の現物が展示されるとともに、「宮ノ前古墳」にまつわる歴史と現在の模様等を写真で紹介しています。

■玉川ふるさと館の開館時間
平日の午前10から午後５時まで（※月曜日休館）

入れ替えられた文化財展示物

▶問い合わせ先
村教育委員会　☎ 57-4633

川辺Aチームが優勝

村長杯ゲートボール大会

8月27日、村老人クラブ連合会（矢部玄信会長）主催による、第31回玉川村長杯ゲートボール大会がすぱーく玉川で開催され、各老人クラブから10チーム61人が出場しました。

開会式では、出場者の中で最高齢の永林テイさん（中・88歳）に高齢賞が贈られました。大会の結果は次のとおりです。

■優　勝：川辺A
■準優勝：小高B
■第3位：小高A
■第4位：南須釜A
■第5位：中

楽しくプレーする参加者

泉中女子が魅せた粘りの力走

中体連石川支部駅伝競走大会

男子第51回、女子第28回となる中体連石川支部駅伝競走大会が９月２日、たまかわ文化体育館をスタート・ゴールとする周回コースで行われました。

コース沿道から保護者や地域の方々の声援を受け、男子11チーム・女子９チームが懸命にタスキをつないだ結果、泉中学校の女子チームが準優勝を果たし、県大会出場を決めました。

中でも第５区の溝井侑希奈さん（２年）は、区間賞となる素晴らしい走りを見せてくれました。

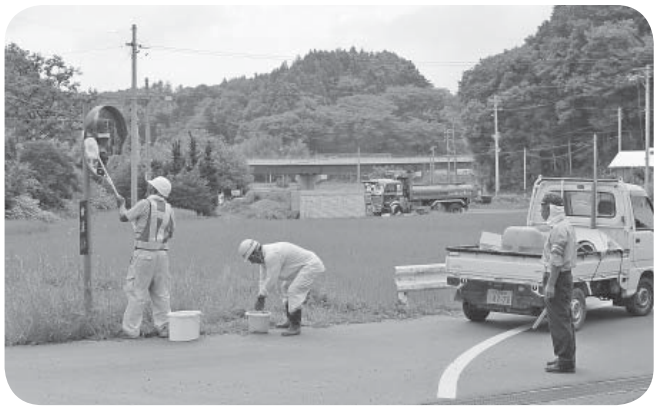
勢いよくスタートする女子第１区の選手たち

交通事故防止を願い

交通安全施設の合同美化作業

玉川村の建設業者６社でつくる玉川村建設協力会（小山田弘会長）と玉川村交通安全協会（大竹洋会長）は８月８日、２団体合同で村内の交通安全施設等の美化作業を行いました。

これは、８月が道路愛護月間（８月10日は道の日）であり、地域貢献活動の一環として実施されたものです。交通量が多い主要幹線道路を中心に、カーブミラー約３００基の清掃や曲がったミラーの修正など、交通事故防止を願い実施しました。



カーブミラーを掃除する参加者

カローリングで交流

役職員親善スポーツ大会

８月23日、村内の役職員が一堂に会し、「第８回玉川村役職員親善スポーツ大会」がたまかわ文化体育館において開催されました。

村議会議員、農業委員、教育、商工会役員、区長会、役場三役課長、消防団幹部、スポーツ推進委員の８団体16チームが参加し、カローリングを通して交流を深めました。

大会の結果、スポーツ推進委員Bチームが優勝、村議会議員Bチームが準優勝を果たしました。

カローリングで親睦を深める参加者

幸せいっぱいの溝井さんファミリー

たまかわっ子誕生祝金贈呈

8月24日、第3子以降のお子さん誕生では第1号となる「たまかわっ子誕生祝金」が溝井修一さん・枝里さん夫妻（小高）に贈呈されました。

誕生したのは第3子の崇文（たかふみ）くん、男の子です。「大きく立派に成長してもらいたい」と修一さんはお子さんへの気持ちを話してくれました。

村では、平成27年4月より新たな「たまかわっ子誕生祝金」制度をスタートし、子どもの健やかな成長を願い、子育てを応援するため、第1子に10万円、第2子に20万円、第3子以降に50万円の祝金を支給しています。

玉川剣士が大健闘

石川剣道連盟大会

「第62回石川剣道連盟大会」が8月30日、たまかわ文化体育館で開催され、石川地方の小中学生と一般選手約200名が出場し、日頃の練習の成果を競いました。

大会は、団体戦小学生の部で玉川剣道スポーツ少年団が優勝、須釜少年剣士団も準優勝と玉川勢が独占。中学生の部でも泉中男子、須釜中女子が、それぞれ準優勝を果たしました。

個人戦でも真野目暉さん（竜崎）、阿部愛香さん（南須釜）、佐藤武史さん（吉）が各部門で優勝を果たしたほか、7名の選手が入賞するなど、玉川勢が躍進した大会となりました。

小学生団体で優勝した玉川剣道スポ少

大会のようす（玉川スポ少対大屋スポ少戦）

玉川ライオンズクラブ杯 少年ソフトボール大会

9月6日、県内各地より32チームが参加し「第18回玉川ライオンズクラブ杯少年ソフトボール大会」が、村民グランドにおいて開催されました。

開会式では、選手を代表し西川淨遷主将（玉川村ソフトボールスポーツ少年団）が、大きな声で堂々と選手宣誓を行い、熱戦がスタート。玉川チームは、日頃の練習の成果を発揮し、あかまつブロックで準優勝を果たしました。

みんなで巨大迷路に挑戦

7月28日、中子ども育成会（三吉康之会長）の子ども達が、中字天神地内にできた「とうもろこし畑迷路」に挑戦しました。

とうもろこし畑迷路は、中地区の小針竹千代さんが「子ども達の夏の遊び場として楽しんでもらいたい」という思いで作られた約1000㎡もある巨大迷路です。

挑戦した子ども達は、巨大迷路に悪戦苦闘。早いタイムでゴールできた子には巨大スイカがプレゼントされるなど、夏休みの楽しい思い出となりました。

とうもろこし畑迷路を楽しむ子ども達

けんこう
健幸だより

あなたは1日に何gの塩分をとっていますか？

自分が１日にどのくらいの塩分をとっているか、知っていますか？

国が定める基準（食塩相当量）は　１日あたり　男性　８ｇ未満
〃　　女性　７ｇ未満　です。

７月に行われた住民健診を受けた方の結果が出ました。
結果表をひらいて、検査項目が記載されている欄をじっくりとご覧ください。そこに【尿中塩分量】という項目が載っています。
この尿中塩分量とは、みなさんが食べ物から取っている推定摂取塩分量になります。そこに書かれている数値と国の数値を見比べてみて下さい。いかがでしたか？
簡単に比較はできませんが、自分の塩分摂取量を知っておくことも大切だと思います。保健センターにて栄養士による相談も承ります。

▶健診結果の問い合わせ先　村保健センター　☎37−1024

クックちゃん文庫から お知らせ

★今月の新着オススメ本　【クックちゃん文庫（公民館内）☎57−4632】

福島あるある
渡辺　則明　著

福島県人ならあたりまえの事、「三万石」の「ままどおる」の唄が歌える。ヨークベニマルは全国展開だと思っている。今や全国に名を馳せるラーメンチェーンの「幸楽苑」をいまだに「会津っぽ」と呼んでしまう。などなど、あたりまえと思っていた事が実は福島特有のあるあるだった！

福島の地理・地名・地図の謎
石田　明夫　監

意外と知らない福島県の歴史を読み解く！１０の小県が「福島県」にまとまるまでと、県庁所在地の行方を巡る攻防や「半田づけ」「猪苗代湖　氷の芸術の秘密」「みしらず柿は食用じゃなかった」など、福島県の地理や歴史、地図に隠された意外なエピソードの数々。知れば知るほど福島県の事が好きになる！

納涼「夏のもっとこわ〜いおはなし会」

８月８日に、夏のもっとこわ〜いおはなし会が開かれ、たくさんの親子連れが訪れました。
今年で３回目となるイベント読み聞かせで、肝だめしの要素たっぷりにふるさと館の古民家展示所を利用して行われました。読み聞かせは、須藤和代さんと圓谷美幸さんによる、怪談紙芝居と本当にあったこわい話を雰囲気たっぷりにお話していただきました。

お知らせ

Information

○総　務　課
57−4621
○住　民　課
57−4624
○須釜支所
57−2061
○税　務　課
57−4622
○会　計　室
57−4625
○健康福祉課
57−4623
○保健センター
37−1024
○産業振興課
57−4627
57−4629
○農業委員会
57−4628
○地域整備課
57−4626
57−4631
○議会事務局
57−4630
○教育委員会
57−4633
○公　民　館
（文化体育館）
57−4632

中体連駅伝競走大会より（９月２日）

秋の行政相談週間

10月19日(月)から25日(日)までの一週間は「行政相談週間」です。

行政相談は、役所（国、県および市町村）や特殊法人などの仕事に関して、苦情や困っていること、わからないこと、要望したいことなどについて相談に応じ、その解決をお手伝いするものです。

相談週間中には、「特設行政相談所」を開設します。相談は、無料で秘密は厳守されます。お気軽にご相談ください。

玉川村の行政相談員

眞弓好司さん
（蒜生）
☎57－3735

▼特設行政相談所日程
10月23日（金）
●午前9時～11時30分
（玉川村役場住民相談室）
●午後1時30分～3時
（須釜公民館 1階講義室）

全国一斉！法務局休日相談所開設のお知らせ

法務局では、地域住民の方々から日常生活での様々な心配ごと、困りごとの相談をお受けし、行政サービスの一層の向上を図ることを目的として「全国一斉！法務局休日相談所」を開設します。

相談は無料で、秘密は守られます。

▼開設日時
10月4日（日）
午前10時～午後4時

▼開設場所
郡山駅前「ビッグアイ」7階市民交流プラザ

▼相談内容
不動産・商業登記の手続、土地の境界問題、遺産相続、地代・家賃等の供託、戸籍・国籍の問題、お年寄り・子どもの虐待、いじめ・体罰問題、セクシャル・ハラスメント、風評被害による人権問題など

▼担当者
法務局職員、司法書士、土地家屋調査士、公証人、人権擁護委員

▼問い合わせ先
福島地方法務局郡山支局
☎024-962-4500

「法の日」司法書士無料法律相談会のお知らせ

福島県司法書士会では、毎年10月1日の「法の日」に合わせて、無料相談会（予約不要）を開催します。

▼相談内容
不動産の登記、会社や法人登記、裁判手続き、成年後見人の申立、債務整理など

▼開催日時・場所及び問い合わせ先
●10月3日（土）
午前10時～午後3時
須賀川共同福祉施設　須賀川市民温泉2階（須賀川市茶畑町71）
☎0248-73-1028
●10月3日（土）
午前10時～午後3時
白河市産業プラザ人材育成センター（白河市中田140）
☎0248-29-8857

10月1日から7日は「公証週間」です

遺産相続、任意後見契約、金銭貸借、不動産貸借、離婚に際しての慰謝料、養育費などの問題は、後々にもめごとを引き起こしがちです。そんなとき遺言や当事者間の取り決めを公正証書にしておけば、トラブルを防止し、権利や財産を守ることができます。

相談は無料です。お気軽にご相談ください。

▼問い合わせ先
郡山公証人合同役場
☎024-922-5888

ライオンズ杯ソフトボール大会より（９月６日）

中学生国内研修事業より（７月29日から31日）

復刻版！東京玉川会コーナー

『今健康で出来る事を』

神奈川県横浜市
車田芳子さん（小高出身）

福島県老連事務局を訪問した際に撮影

東日本大震災から四年が過ぎました。目には見えず、色も匂いもない物体に惑わされた故郷福島が安心して生活出来ますようにと祈念いたしております。

私の住む町内会では、会長ほか四名で二本松仮設住宅三ヶ所と福島県老連へ、辛い生活を余儀なくされている方々に少しでも元気を取り戻して頂きたいと慰問訪問を続けて三年目となりました。

昨年より明るく感じましたが、問い掛けに対して返ってくる言葉の中で「故郷を壊された悔しさは何とも言いようがない」という返答の言葉が重く心から離れません。

次回こそは、明るく元気な皆様にお会い出来ると信じています。

今年六月に東京玉川会総会が開催され、懐かしく楽しい「東京玉川村の会」となりました。総会の際、隣席に須釜健康福祉課長がおり、私も横浜市の保健活動推進員を務めていることもあって、ストレッチや衰えた筋力を少しでも戻す今話題のロコモ（※）対策など、様々な健康維持・推進に係る意見交換をする機会が出来ました。

私の弟妹がお世話になっております大好きな玉川村に感謝しつつ、皆々様がご健勝でありますようお祈り申し上げます。

※ロコモとは、運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態を「ロコモティブシンドローム（略称：ロコモ）」といいます。

文芸 literature

さるなし俳句会八月句会吟詠

真夏生きむと点滴を眼に数う　仁
千梅のひかり程よき日脚かな　由記
朝顔や夫の残せし鉢に咲く　真知
畑中の友に招ばれて西瓜食ぶ　今朝
蜘蛛の囲に寝起きの行手さえぎられ　公
父・母に話し掛けては草を取り　美枝
香ばしき香り懐し麦こがし　仁美

短歌詠草集

秋耕の鍬に乗せつつ小蛙を埋め返しやる　土手の根方に　吉田ハツ子
清すがしい秋風に今日も誘われて　野菊の花と対話の一時　小針　ミサ
緑より錦に変わる風景の何処かが淋し心に沁み来る　草野ケサ子
人生の花は咲かずも家族らに囲まれて生きる幸せの日日　大木　淑子
いいものを上げると孫が手のひらに握りて来たる花すみれの花　小豆畑茂登
老いの道楽しいものと微笑みて明るさ戻す　卒寿の母は　芳賀多美子
幾十年われを映して正される「姿見」にあり　曇らず今も　小木　紀恵
女という文字の親しさ逞しさ今に伝えて「撫子ジャパン」　須藤　洋子
牛なれど家族となして日日を生く　牛小屋に咲かす愛情の花　板橋　幸恵
靖国を敬い参拝するような強き国家の内閣が欲しきぐ　一平子

お誕生おめでとうございます

（8月届出分）

地区名	出生児氏名	保護者名
竜　崎	小　林　星南（せいな）	旭
南須釜	片　寄　希美（のぞみ）	祐　樹
〃	八　木　蒼斗（あおと）	克　明

おくやみ申し上げます

（8月届出分）

地区名	死　亡　者	世帯主名
川　辺	大和田　重　功	重　功
〃	双　里　シゲ子	清　司
蒜　生	曲　山　フミ子	吉　信
中	坂　井　キ　ミ	キ　ミ
〃	矢　部　ハルヨ	ハルヨ
岩法寺	草　野　タ　ツ	義　房
竜　崎	小　林　壽　子	重　雄
南須釜	大　木　正　一	正　一
吉	森　儀　秋	儀　秋

寄付ありがとうございます

次の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。
（村社会福祉協議会：8月受領分）

川　辺　大和田　重　幸　様
〃　双　里　清　司　様
蒜　生　曲　山　吉　信　様
中　坂　井　孝　一　様
岩法寺　草　野　義　房　様
竜　崎　小　林　重　雄　様
〃　矢　部　忠　男　様
南須釜　大　木　ア　サ　様
吉　森　保　雄　様
ＪＡあぶくま石川　玉川支店　様
郡山ヤクルト販売株式会社　様

9月1日現在の村のようす（前月比）

世帯数	２，０８４戸	（－　４戸）
人　口	６，８２６人	（－１２人）
男	３，３８５人	（－　５人）
女	３，４４１人	（－　７人）

あぶくま高原道路ライブカメラ公開

あぶくま高原道路ライブカメラ　検索
（http://fukushima-road.net/kentyuu/abukuma/）

玉川夏祭りより（８月13日）

「元気なたまかわ ふるさと応援寄附金」

ふるさと応援記念品取扱事業者募集

村では、ふるさと納税（寄附金）制度による地元特産品等のPR、販売促進及び地元企業の活性化を図るため、寄附者に記念品として商品やサービスを提供する企業や団体、個人事業者等を随時募集しています。

取扱いを希望される場合は、以下の要件をご確認のうえ、役場総務課までお問い合わせください。

■募集要件

【次の要件に全て適合していること】

①各種法令に沿った生産・製造・販売等を行っていること。
②原則、本社（本店）、支社（支店）及び事業所、工場が村内にある企業・団体または個人事業者であること。
③代表者等が、暴力団による不当な行為の防止等に関する法律に掲げる暴力団の構成員等でないこと。
④個人情報の取扱いについては、玉川村個人情報保護条例及び関係法令を順守すること。

■募集する記念品について

【次の要件を全て満たす商品等を募集します】

①玉川村の魅力を「体感できる」「懐かしんでいただける」ものであり、観光PRといった地域産業の振興にもつながる要素を持つ商品等であること。
②「玉川村で生産・製造・加工されているもの」、「玉川村産の原材料を使用しているもの」、「玉川村内で販売されているもの」のいずれかに該当していること。
③品質及び数量の面において、安定供給が見込めること。（ただし、期間限定・数量限定で供給可能なものは取扱可能とする。）
④商品情報の開示が可能であること。

■取扱事業者のメリット

○ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」に記念品の画像、商品名、事業者名などを掲載します。
○玉川村のホームページに記念品の画像、商品名、事業者名などを掲載します。
○玉川村が作成する「ふるさと納税パンフレット」等に商品名及び事業者名を掲載します。

▶問い合わせ先
役場総務課　☎５７-４６２１

2015 10 October

日	月	火	水	木	金	土
◆玉川村虐待防止センター専用ダイヤル ☎080-5220-4623 ※毎日24時間体制で虐待にかかわる通報（連絡）や相談を受け付けています。	●休日当番医の診療時間は、午前8:30～午後4:30までとなっています。 ※須賀川地区の在宅当番医は、須賀川市保健センター内の休日夜間急病診療所で診察しています。 ☎0248-76-2980 須賀川市諏訪町67-1			1 ●小体連陸上大会	2 ●(元)プール教室 (13:30矢吹町温水プール) 燃えるゴミ	3 ●泉保育所「親子運動会」
4 (休医) 味原医院 (玉川村)	5 ●クックちゃん文庫休館日	6 ●すくすく広場 ●育児教室 (13:00保セ) ●(元)バドミントン (19:00文体) ●(元)ヨガ教室 (19:15クラブ) 燃えるゴミ	7 ●高齢者教室 (13:30文体) 延長窓口(～19:00) 資源ゴミ:東部 不燃ゴミ:西部	8 ●(元)フットサル教室 (19:00体セ)	9 燃えるゴミ	10 ●2015スポーツフェスタ (8:00文体、村グ)
11 (休医)ひらた中央病院 (平田村)	12 体育の日 (休医)ひらた中央病院 (平田村)	13 ●いきいき教室(13:30健た) ●(元)フラダンス教室 (9:30就改) ●(元)バドミントン (19:00文体) ●(元)ヨガ教室 (19:15クラブ) ●クックちゃん文庫休館日 燃えるゴミ	14 ●(元)レクダンス教室 (13:30村体) ●(元)きっずたいいく教室 (15:30村体) 延長窓口(～19:00) 資源ゴミ:西部 不燃ゴミ:東部	15 ●東北電力スクールコンサート ●(元)ラージボール卓球 (9:30文体)	16 ●泉中学校「いずみ祭」 ●3歳児健診(12:45保セ) ●1歳6ヵ月児健診(13:00保セ) ●(元)3Bたいそう教室 (9:30文体) ●(元)プール教室 (13:30矢吹町温水プール) 燃えるゴミ	17 ●須釜中学校「鎧山祭」
18 (休医)ひらた中央病院 (平田村)	19 ●クックちゃん文庫休館日	20 ●すくすく広場 ●すくすくクラブ (10:00保セ) ●(元)バドミントン (19:00文体) ●(元)ヨガ教室 (19:15クラブ) 燃えるゴミ	21 ●3・4ヵ月児健診 (13:30公立岩瀬病院) ●(元)きっずたいいく教室 (15:30村体) 延長窓口(～19:00) 資源ゴミ:東部 不燃ゴミ:西部	22 ●(元)ラージボール卓球 (9:30文体) ●(元)トレーニング教室 (19:00文体) ●(元)フットサル教室 (19:00体セ)	23 ●たまKon (18:00須賀川市) 燃えるゴミ	24 ●(元)スポーツサロン (13:00文体他)
25 (休医)ひらた中央病院 (平田村)	26 ●いきいき教室 (11:00健た) ●クックちゃん文庫休館日 介護保険料：第4期 後期高齢者医療保険料:第3期 固定資産税：第2期 国民健康保険税：第4期	27 ●すくすく広場 ●(元)フラダンス教室 (9:30就改) 燃えるゴミ	28 ●(元)レクダンス教室 (13:30村体) ●(元)きっずたいいく教室 (15:30村体) 延長窓口(～19:00) 資源ゴミ:西部 不燃ゴミ:東部	29 	30 ●(元)3Bたいそう教室 (9:30村体) ●(元)プール教室 (13:30矢吹町温水プール) ●クックちゃん文庫休館日 燃えるゴミ	31 ●玉川村文化祭 ●玉川第一小学校 「学習発表会」 ●須釜小学校 「すがまっ子フェスティバル」

●(休医)‥休日当番医　●(元)‥元気スポーツクラブ　●文体‥文化体育館　●クラブ‥文化体育館クラブハウス　●保セ‥保健センター
●健た‥健康の駅たまかわ　●村グ‥村民グラウンド　●就改‥就業改善センター　●村体‥村民体育館　●体セ‥体育センター

玉川の魅力を発信
風とロックCARAVAN

県内市町村を巡り、ふる里の魅力を発信する「風とロックCARAVAN福島」が8月22日、たまかわ文化体育館で開かれました。

第一部は、クリエイティブディレクター箭内道彦さん（郡山市出身）と石森村長、石森誠村商工会青年部長、地域おこし協力隊の荻野育恵さんが対談し、村の現状とPRを行いました。

第二部では、人気ロックバンドの怒髪天、フリーアナウンサーの平井理央さんが出演し、トークショーと音楽ライブを繰り広げ、参観者は、熱い夏のステージに盛り上がりました。

盛り上がった「風とロックCARAVAN」

広報紙に掲載された写真が欲しい方は
総務課広報聴係（57−4621）まで

TAMAKAWA MOBILE
玉川村モバイルサイト

VEGETABLE OIL INK
この広報誌は環境にやさしいインキと再生紙を使用しております。

発行／福島県石川郡玉川村大字小高字中畷9　玉川村役場　編集／総務課　☎（0247）57−4621　印刷／㈲和田印刷（毎月15日発行）